

オーロラⅡ (トルコ投資ファンド)

運用報告書(全体版)

第24期 (決算日2020年7月13日)

作成対象期間 (2019年7月12日～2020年7月13日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
なお、当ファンドは、2020年3月27日に信託期間を延長する約款変更を行い、信託期間終了日は2024年7月12日となりましたので、ご留意下さい。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	1996年9月12日から2024年7月12日までです。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目的として、積極的な運用を行います。
主な投資対象	トルコの企業の株式（DR（預託証書）を含みます。）を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、繰越分を含めた利子・配当収入と売買益等から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104
〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率	純資産額
		税金	分配金	騰落率	騰落率	騰落率				
	円	円	%	%	%	%	%	%	百万円	
20期(2016年7月11日)	11,802	120	△26.8	△28.5	94.2	—	4.2	—	2,017	
21期(2017年7月11日)	13,352	200	14.8	17.8	96.6	—	1.9	—	3,379	
22期(2018年7月11日)	9,504	0	△28.8	△29.2	96.9	—	—	—	2,713	
23期(2019年7月11日)	8,268	0	△13.0	△17.3	94.3	—	—	—	2,162	
24期(2020年7月13日)	7,624	0	△7.8	△4.7	95.3	—	—	—	1,400	

*基準価額の騰落率は分配金込み。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*参考指数はBIST100指数（円換算ベース）です。
*参考指数（=BIST100指数（円換算ベース））は、BIST100指数（現地通貨ベース）をもとに、当社が独自に円換算したものです。
算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日のトルコリラ為替レート（対顧客電信売買相場値）で円換算しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

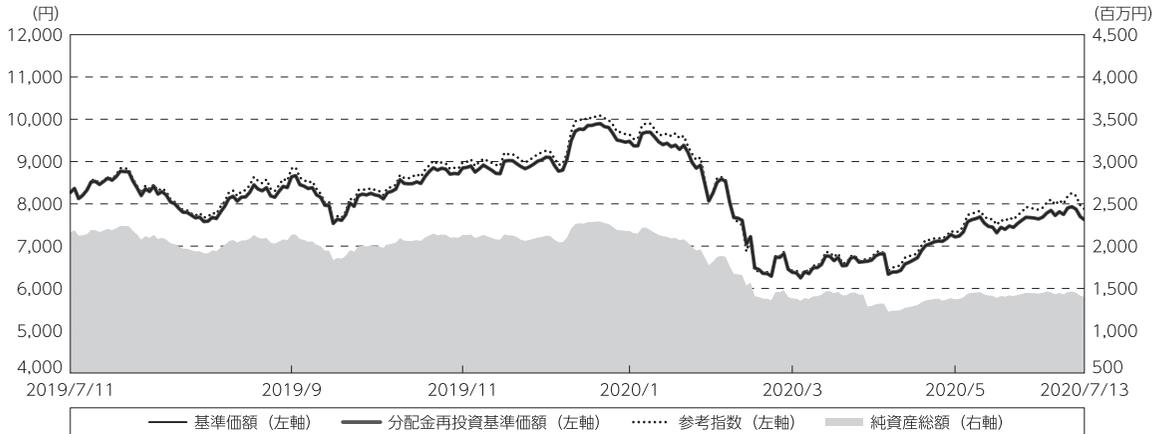
年月日	基準価額	基準価額		株式組入比率	株式先物比率	投資信託証券組入比率
		騰落率	騰落率			
(期首) 2019年7月11日	円 8,268	% —	% —	% 94.3	% —	% —
7月末	8,762	6.0	7.0	95.2	—	—
8月末	7,680	△7.1	△5.8	94.7	—	—
9月末	8,638	4.5	6.8	99.3	—	—
10月末	8,190	△0.9	0.4	98.3	—	—
11月末	8,848	7.0	8.6	98.8	—	—
12月末	9,094	10.0	11.6	98.3	—	—
2020年1月末	9,479	14.6	16.6	98.3	—	—
2月末	8,495	2.7	3.8	97.9	—	—
3月末	6,382	△22.8	△22.4	96.5	—	—
4月末	6,817	△17.5	△16.7	95.3	—	—
5月末	7,217	△12.7	△11.4	93.6	—	—
6月末	7,782	△5.9	△2.9	93.5	—	—
(期末) 2020年7月13日	7,624	△7.8	△4.7	95.3	—	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：8,268円

期 末：7,624円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△7.8% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2019年7月11日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 参考指数は、BIST100指数(円換算ベース)です。参考指数は、作成期首(2019年7月11日)の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

- (上 昇) ロシア製ミサイル購入を巡る米国による対トルコ制裁のリスクが後退したこと、トルコ中央銀行が大幅な利下げを実施したこと、経済指標が景気の持ち直しを示唆したこと、米中貿易協議が「第1段階」の合意に至ったこと
- (下 落) トルコ軍とシリア政府軍との軍事作戦によって地政学的リスクが高まったこと、新型コロナウイルスの感染がトルコでも急拡大し、経済活動が急速に落ち込んだこと、地政学的リスクの高まりや新型コロナウイルスの世界的な拡大を受けた投資家のリスク回避姿勢の強まりによってトルコ・リラが対円で下落(円高)したこと
- (上 昇) トルコも含めて世界的に新型コロナウイルスの感染者数増加ペースが鈍化し、経済活動が段階的に再開したこと、国営銀行が割安な金利での住宅ローンや消費者ローンを提供したこと、国内投資家の株式市場への参加が増え、取引高が拡大したこと

○投資環境

期初、トランプ米大統領がロシア製ミサイル購入を巡る対トルコ制裁の実施に消極的な姿勢を示したことが好感され、トルコ株式市場は上昇して始まりました。その後、米中貿易摩擦の激化を受けて、世界株式市場と共に下落しましたが、国内景気の持ち直しを示唆する経済指標の発表やトルコ中央銀行による大幅な利下げなどを受けて上昇に転じました。しかし、クルド人武装組織を狙うトルコ軍の北シリアでの軍事作戦がもたらした米国との緊張の高まりで再び下落しました。これは、最初に北シリアへの侵攻を認めた米トランプ大統領が米国内から多くの厳しい批判を浴びた後に、トルコに深刻な経済制裁を課すと警告したことによるものです。その後、トルコが停戦に合意し、エルドアン大統領とトランプ米大統領が会談を行ない、両国の関係に改善がみられたことで再び持ち直しました。米中貿易協議が「第1段階」の合意に達したことやトルコ中央銀行の追加利下げを受け、続伸しました。

2020年1月中旬から新型コロナウイルスの感染が中国で拡大したことで下落に転じました。また、トルコ軍がシリア難民の自国への流入を抑えるため、北シリアの安全地帯確保に向けて、シリア政府軍に対して軍事作戦を開始しましたが、シリア政府を支援しているロシア軍との衝突リスクが高まったことも嫌気されました。その後、トルコでも新型コロナウイルスが急拡大し、経済活動が急速に落ち込んだことで下落は加速しました。

しかし、新型コロナウイルスの感染者数増加ペースがトルコも含めて世界的に鈍化し、米国をはじめ多くの国において経済活動の段階的な再開の動きが広がる中、世界株式と共にトルコ株式市場も反発しました。国営銀行による割安な金利での住宅ローンや消費者ローンの提供によって個人消費に急回復の兆しが見られたことも株価上昇の一因となりました。期末にかけて、国内投資家の株式市場への参加が増え、取引高が拡大する中、幅広い銘柄が値上がりしましたが、当期においてトルコ株式市場は、現地通貨ベースで見て下落となりました。

為替市場では、期の前半に米中貿易摩擦の激化やトルコ軍の北シリアでの軍事作戦などを巡る地政学的リスクの高まりが重石となりましたが、インフレ率の低下が下支えとなり、トルコ・リラの下落は緩やかとなりました。後半に、新型コロナウイルスの感染拡大で投資家のリスク回避的な姿勢が高まったことに加え、インフレ率が上昇に転じたにもかかわらず、トルコ中央銀行が利下げを繰り返し、インフレ率を考慮した実質金利が世界的にも大きなマイナス水準となったことが嫌気され、トルコ・リラの下落は加速しました。当期においてトルコ・リラは対円で大幅に下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

・株式組入比率

原則として高位を維持するという運用方針に基づいて運用を行ない、組入比率はおおむね高位を維持しました。

・期中の主な動き

- (1) 業種配分では、期初においては、一般消費財・サービス、情報技術などをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、資本財・サービス、素材などをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、一般消費財・サービス、生活必需品などをオーバーウェイトとし、資本財・サービス、素材などをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄では、BIMビシユレジツキ・マーザラージ（食品・生活必需品小売り）、ターケセル（無線通信サービス）、アクバンク（銀行）などを上位に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（BIST100指数（円換算ベース））が4.7%の下落となったのに対して、基準価額は7.8%の下落となりました。

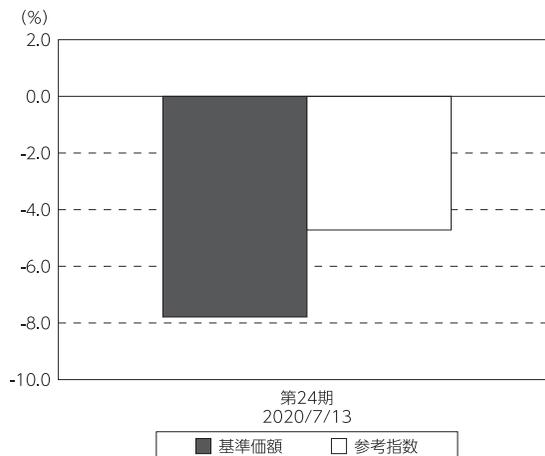
（主なプラス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った生活必需品や一般消費財・サービスをオーバーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を上回った自動車部品株や食品・生活必需品小売り株をオーバーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ①業種配分で、株価騰落率が参考指数を上回った素材をアンダーウェイトとしたこと
- ②個別銘柄で、株価騰落率が参考指数を下回った銀行株をオーバーウェイトとしたことや、株価騰落率が参考指数を上回った航空宇宙・防衛株をアンダーウェイトとしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、BIST100指数（円換算ベース）です。

◎分配金

基準価額水準などを勘案して、大変遺憾ながら今期の収益分配は見送らせていただきました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第24期
	2019年7月12日～ 2020年7月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	8,121

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

◎今後の運用方針

・投資環境

- (1) トルコ経済については、政府系銀行による低金利ローンの提供で自動車や住宅の販売が急回復し、景気も回復しています。しかし、この状況がインフレ率の高止まりで、将来の値上がりを懸念した駆け込み需要による一時的な回復にとどまるか、または、今後失業率の低下などをもたらす持続的な好循環に発展出来るかを見極めていきたいと考えています。また、インフレ率にも注目しています。足元でインフレ率が再び上昇していますが、この傾向が続けば、トルコ・リラを安定化させるために、トルコ中央銀行が利上げせざるを得ない状況になると考えています。景気回復を優先してきた中央銀行が金融引き締めといった難しい判断が出来るか注視していきます。
- (2) トルコ株式市場については、足元の株価回復後にも、多くの銘柄が株価バリュエーション（投資価値評価）で見て割安な水準で取引されています。国内の景気回復が続き、大手企業の業績回復への投資家の確信が高まれば、株価バリュエーションが拡大する余地は大きいと考えています。一方、安定化の兆しが見られたトルコ・リラが再び下落し、銀行や外貨建て債務が多い企業の株価に重石となることがリスクと考えています。

・投資方針

業種配分では、中長期的なトルコの経済成長の恩恵を受けるとみられる一般消費財・サービスを引き続きオーバーウェイトとする方針です。

個別銘柄については、競争力のあるビジネスモデルや独自の成長要因を有し、中長期的に比較的安定した収益の成長が見込まれる銘柄に選別的に投資する考えです。

今後も基準価額の向上に努めて参りますので、引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年7月12日～2020年7月13日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 181	% 2.234	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 87 ）	（ 1.073 ）	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	（ 85 ）	（ 1.051 ）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	（ 9 ）	（ 0.111 ）	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.037	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	（ 3 ）	（ 0.037 ）	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	（ 0 ）	（ 0.000 ）	
(d) そ の 他 費 用	19	0.232	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 18 ）	（ 0.228 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 0 ）	（ 0.003 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	203	2.503	
期中の平均基準価額は、8,115円です。			

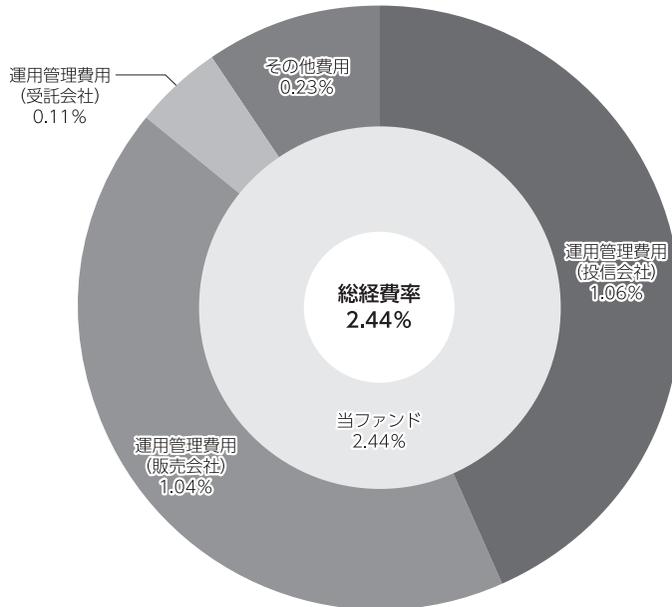
* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）**○総経費率**

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.44%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2019年7月12日～2020年7月13日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イギリス	百株 539	千英ポンド 28	百株 573	千英ポンド 112
	トルコ	18,765 (1,686)	千トルコリラ 18,716 (-)	47,137	千トルコリラ 52,136

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

*()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2019年7月12日～2020年7月13日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	1,243,239千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	1,788,768千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年7月12日～2020年7月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2020年7月13日現在）

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額	評 価 額	
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千英ポンド	千円	
GLOBAL PORTS HOLDING PLC	322	—	—	—	運送インフラ
DP EURASIA NV	1,639	1,927	70	9,522	ホテル・レストラン・レジャー
小 計	株 数	株 数	70	9,522	
	銘 柄 数 < 比 率 >	2	1	< 0.7% >	
(トルコ)			千トルコリラ		
AKBANK T. A. S	15,136	10,499	6,037	94,000	銀行
AKSA AKRILIK KIMYA SANAYII	1,128	1,450	1,035	16,126	繊維・アパレル・贅沢品
AKSIGORTA	4,207	2,449	1,768	27,537	保険
ALARKO CARRIER SANAYI VE TICARET AS	215	—	—	—	機械
ANADOLU HAYAT EMEKLILIK	1,609	1,279	1,055	16,431	保険
ARCELİK A. S	1,771	549	1,084	16,890	家庭用耐久財
ASELSAN ELEKTRONİK SANAYI	—	834	2,652	41,307	航空宇宙・防衛
AYGAZ AS	964	1,514	1,724	26,853	ガス
BRISA BRIDGESTONE SABANCI LASTİK SAN VE	2,055	1,484	1,825	28,420	自動車部品
CİMSA CEMENTO SANAYI VE TİC	1,386	—	—	—	建設資材
EREGLİ DEMİR VE ÇELİK FABRİK	5,562	4,620	3,973	61,869	金属・鋳業
FORD OTOMOTİVE SANAYI AS	795	695	5,078	79,069	自動車
İNDEKS BİLGİSAYAR SİS TEMLERİ MUHENDİSLİ	1,785	1,831	1,930	30,051	電子装置・機器・部品
KOC HLDGS	3,724	1,272	2,180	33,954	コングロメリット
KORDSA TEKNİK TEKSTİL A. S.	2,382	976	1,174	18,285	自動車部品
LOGO YAZILIM SANAYI VE TİCAR	219	182	1,607	25,022	ソフトウェア
SODA SANAYII	5,069	—	—	—	化学
TOFAS TÜRK OTOMOBİL FABRİKA	1,839	1,561	3,966	61,757	自動車
TRAKYA CAM SANAYII AS	4,978	—	—	—	建設関連製品
TÜRK TUBORG BİRA VE MALT SANAYII A. S.	1,362	969	1,460	22,733	飲料
TÜRK HAVA YOLLARI AO	1,112	1,215	1,437	22,389	旅客航空輸送業
TURKCELL İLETİŞİM HİZMET AS	5,933	4,932	7,935	123,558	無線通信サービス
TURKIYE GARANTI BANKASI	8,426	6,276	4,902	76,326	銀行
TURKIYE İS BANKASI AS-C	3,105	2,389	1,259	19,605	銀行
TUPRAS-TURKIYE PETROL RAFİNE	603	288	2,467	38,426	石油・ガス・消耗燃料
YAPI VE KREDİ BANKASI A. S.	6,409	10,067	2,305	35,895	銀行
HACI ÖMER SABANCI HOLDING	5,521	4,094	3,726	58,014	各種金融サービス
COCA-COLA İÇECEK AS	1,554	1,163	5,187	80,762	飲料
BİM BİRLEŞİK MAĞAZALAR AS	1,026	1,521	10,367	161,419	食品・生活必需品小売り
VESTEL BEYAZ EŞYA SANAYI VE	—	697	1,871	29,137	家庭用耐久財
TAV HAVALİMANLARI HOLDING AS	1,073	355	606	9,446	運送インフラ
TEKFEK HOLDING AS	330	258	442	6,889	建設・土木
LOKMAN HEKİM ENGÜRUSAG SAĞLI	693	—	—	—	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス
MİGROS TİCARET A. S	—	593	2,484	38,680	食品・生活必需品小売り
MAVİ GİYİM SANAYI VE TİCA-B	373	107	482	7,513	繊維・アパレル・贅沢品
AVİVASA EMEKLİLİK VE HAYAT A	1,175	714	1,061	16,526	保険
小 計	株 数	株 数	85,093	1,324,902	
	銘 柄 数 < 比 率 >	33	31	< 94.6% >	
合 計	株 数	株 数	95,494	1,334,425	
	銘 柄 数 < 比 率 >	35	32	< 95.3% >	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

（2020年7月13日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	1,334,425	93.5
コール・ローン等、その他	92,908	6.5
投資信託財産総額	1,427,333	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（1,389,433千円）の投資信託財産総額（1,427,333千円）に対する比率は97.3%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=106.84円、1英ポンド=134.99円、1トルコリラ=15.57円、1ユーロ=120.88円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2020年7月13日現在）

○損益の状況（2019年7月12日～2020年7月13日）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,427,333,592
コール・ローン等	82,535,513
株式(評価額)	1,334,425,550
未収入金	10,372,529
(B) 負債	27,238,875
未払金	2,974,361
未払解約金	6,456,642
未払信託報酬	17,781,504
未払利息	19
その他未払費用	26,349
(C) 純資産総額(A-B)	1,400,094,717
元本	1,836,448,252
次期繰越損益金	△ 436,353,535
(D) 受益権総口数	1,836,448,252口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,624円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	31,849,293
受取配当金	31,873,792
受取利息	2,548
支払利息	△ 27,047
(B) 有価証券売買損益	△ 104,449,367
売買益	337,956,428
売買損	△ 442,405,795
(C) 信託報酬等	△ 45,404,512
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 118,004,586
(E) 前期繰越損益金	△ 709,015,404
(F) 追加信託差損益金	390,666,455
(配当等相当額)	(1,438,519,970)
(売買損益相当額)	(△1,047,853,515)
(G) 計(D+E+F)	△ 436,353,535
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△ 436,353,535
追加信託差損益金	390,666,455
(配当等相当額)	(1,438,519,970)
(売買損益相当額)	(△1,047,853,515)
分配準備積立金	52,962,798
繰越損益金	△ 879,982,788

(注) 期首元本額は2,616,075,695円、期中追加設定元本額は128,137,736円、期中一部解約元本額は907,765,179円、1口当たり純資産額は0.7624円です。

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2019年7月12日～2020年7月13日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2019年7月12日～ 2020年7月13日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	1,438,519,970円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	52,962,798円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	1,491,482,768円
f. 分配対象収益(1万円当たり)	8,121円
g. 分配金	0円
h. 分配金(1万円当たり)	0円

○分配金のお知らせ

1万円当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合、分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合、分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合、分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

信託期間を3年更新し、信託期間終了日を2024年7月12日とする所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2020年3月27日>